

特別講演

「^{かな}愛しみと共に生きる」

本郷由美子

本郷由美子さんの特別講演会「愛しみと共に生きる」が、2021年10月30日にオンラインで開催されました。本郷さんは、2001年6月8日に大阪教育大学附属池田小学校で起きた殺傷事件で、7歳だった長女の優希^{ゆき}さんを失い、深い悲嘆のなかで学びを重ねられました。いまは、東京を拠点に、死別を経験した人のみならず、かなしみ、苦しさ、生きづらさを抱えた人、身寄りのない人たちに寄り添う活動をしています（まとめ・河原理子）。

1. 喪失体験

みなさん初めまして。今日は、「愛」と書いて「かなしみ」、「^{かな}愛しみと共に生きる」ということでお話します。

私は、スピリチュアルケアを土台としたグリーンケアの学びや活動をしています。スピリチュアルケアはロゴセラピーと似ている部分があると感じています。私も、フランクルの本を読んで、影響を受けた一人でもあります。

今日は、苦悩のなかから、私がどのように生きる意味を見出して、いまの活動をしているかということをお話させていただきたいと思います。

私たち、生きていたら誰もが、いろいろな苦悩を抱えると思います。私も、たくさんの苦悩を抱えて生きてきたのですが、大きな喪失を、20代後半から30代前半に、二つ体験しています。それは、私の人生を根底からくつがえすような体験でした。

一つは、20代の後半のとき、1995年でした。実は私は、阪神淡路大震災に巻き込まれております。震度7の地域に住んでいて、0歳の赤ちゃんを抱えて避難する経験をしました。

真冬の早朝に起きた地震でした。高台に住んでいました。朝がだんだんと明けてくると、変わり果てた街の姿が見えてきました。平地から煙が上がって